

事務事業評価表（令和2年度の実績評価）

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 74歳までの被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡等といった保険事故に対して必要な保険給付を行うことで、その内容は療養の給付、一部負担金、入院時食事療養費、入院時生活療養費、保険外併用療養費、療養費、訪問看護療養費、特別療養費、移送費、高額療養費等である。また、このほか出産育児一時金、葬祭費、移送費等の支給も行う。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・レセプト管理。・被保険者の資格の認定その他の処理。・国民健康保険給付。・第三者行為求償事務。・高額療養費及び出産育児一時金の貸付。・国民健康保険の資格得喪の受付及び被保険者証の作成交付。・国民健康保険の葬祭費及び出産育児一時金申請。・国民健康保険の諸届、申請等の受付及び証明書、その他の書類の交付。・退職者医療事務。・葬祭費の支給に係る申請書の受付。

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
・レセプト管理・保険給付、第三者行為求償、高額療養費及び出産育児金一時金の貸付、資格得喪の受付及び被保険者証の作成交付、葬祭費及び出産育児一時金申請、諸届、申請等の受付及び証明書等の事務	レセプト二次点検件数	件	178,969.00	163,380.00	170,000.00	170,000.00	170,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
国民健康保険の被保険者	国民健康保険被保険者数（年度末現在月報）	人	11,300.00	10,850.00	10,350.00	9,850.00	9,350.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
市民が適切な国保医療給付を受けられる。	保険給付費（審査支払手数料含む）	千円	3,354,439.00	3,246,322.00	3,230,891.00	3,000,000.00	2,800,000.00
	高額療養費貸付額	千円	957.00	78.00	2,000.00	1,500.00	1,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
	18 負担金補助及び交付金	3,246,322		18 負担金補助及び交付金	3,230,891	
			合 計	3,246,322		合 計

事務事業名	国民健康保険療養費等給付事務	事務事業No.	10701000393	所属課	国保年金課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和33年より現行の国民健康保険法が施行され、国民健康保険は社会保障制度の一環であるが運営主体は市町村とされ、その市町村に住所を有する者は、皆、被保険者と位置づけられた事により開始された。平成27年5月27日に「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、平成30年4月から都道府県も市町村とともに国保の運営を担うことになった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	☒ 結びついている 国民健康保険は社会保障制度のひとつであり、運営主体は市町村であるため結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	☒ 妥当である 国民健康保険は社会保障制度のひとつであり、運営主体は市町村であるため妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	☒ 向上余地がない 構造的な諸問題を抱える市町村国保では、今後の社会情勢動向から成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	☒ 影響有 国民健康保険は社会保障制度のひとつであり、運営主体は市町村であるため影響がある。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む))	☒ 余地がない 他に手段がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	☒ 削減余地がない 構造的な諸問題を抱える市町村国保は、社会情勢動向から事業費の削減余地はなく、窓口業務と事務事業の内容が幅広く丁寧な来客対応と効率的な事務執行を目指しているが削減の余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	☒ 公正・公平である 市町村に住所を有する被保険者であることから公正公平である。
公平性		

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	法改正が頻繁なことや、時限立法による制度運用が多いため煩雑である。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
			(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ☒ ②																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 ☒ A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 ☐